



「秘密保護法案」緊急学習会（ねやがわ9条の会連絡会）

「何が秘密か、それは秘密」、不明のまま 10年以下の懲役、1千万円以下の厳罰

寝屋川民報
議会版

発行
日本共産党
寝屋川市議員団
824-1181(内線2399)
FAX 824-7760
Email:jpcncc@cc-net.or.jp
NO. 2498

廃案以外にない「秘密保護法案」 許すな！自由がない監視社会

十一月二二日、ねやは九条の会連絡会が、「戦争できる国をねらう秘密保護法案」緊急学習会を開きました。

大阪憲法会議副幹事長の西晃弁護士が、国家安全保障会議（日本版NSC）設置法案と特定秘密保護法案の性急な緊迫した審議状況と今後の展開を述べ、その後、「秘密保護法の概要」をわかりやすく報告しました。

この間、国民世論は急速に変化、多数が反対、七割、八割が慎重審議を求めるようになっています。

【なぜ今秘密保護法なのか：その背景】
日本版NSC設置の目的は、アメリカの戦争司令部であるNSCをまたたものですが、日米同盟の強化のために、徹底した情報管理が必要というのが理

由です。

集団的自衛権の行使、国家安全保障会議の設置、秘密保護法、その先にある安全保障基本法など、「戦争できる国」へ一体のものです。

戦争を放棄し、戦争につながる戦力放棄を謳い、戦争を絶対否定している憲法9条を形骸化し壊すものです。



【法案の概要】
法案別表の①防衛②外交③特定有害活動④テロリズムの四つの項目のすべてに、「その他重要な情報」の項目があります。特定秘密を指定するのは行政機関の判断、裁量です。

「何が秘密？それは秘密」、秘密の範囲が際限ないものになる危険があります。

◆ ◆ ◆

罰則は十年以下の懲役又は一千万円以下の罰金と重く、一般市民から国会議員や裁判官まで、漏洩、共謀、教唆、扇動など、国民弾圧の理由に事欠かない希代の悪法です。廃案にする以外ありません。

監視、情報収集されていた寝屋川市民集会

会場からの発言では、

○四年二月二五日（水）の「自衛隊のイラク派兵反対・憲法改悪反対！寝屋川市民集会」が自

由です。

関係者の適性評価も秘密を独占する行政機関相互、同盟国への提供はスムーズにされるが、国民の知る権利の保障はありません。

この間、有名なテレビキャスターがこぞつて反対を表明しましたが、「国民の知る権利の保障に資する報道又は取材の自由に十分に配慮」の文言を雑則に書き込んでいます。

◆ ◆ ◆

この間、有名なテレ

ビキャスターがこぞつて反対を表明しましたが、「国民の知る権利の保障に資する報道又は取材の自由に十分に配慮」の文言を雑則に書き込んでいます。

◆ ◆ ◆

も厳しい要件を設け、

行政が国会に秘密提供する時には、秘密会（現憲法下では、これまで一度もありません）とし、国会議員が所属政党に報告すれば秘密漏洩とされかねません。

◆ ◆ ◆

また、裁判になつても、裁判官だけが秘密を知られ、被告人も弁護士も「何が罪か」

わからぬまま刑罰をうけることも考えられます。刑法の罪刑法定主義に反します。

◆ ◆ ◆

も、裁判官だけが秘密漏洩とされかねません。

主主義の根幹にかかわることを「配慮」にすることを「配慮」に書き込んでいます。

◆ ◆ ◆

また、裁判になつても、裁判官だけが秘密を知られ、被告人も弁護士も「何が罪か」

わからぬまま刑罰をうけることも考えられます。刑法の罪刑法定主義に反します。

◆ ◆ ◆

自治体への特定秘密の提供は想定もしていません。

主主義の根幹にかかわることを「配慮」に書き込んでいます。

◆ ◆ ◆

自治体への特定秘密の提供は想定もして

十一月十日、今年も
寝屋川母親大会が開かれました。
主催者挨拶の後、中
谷光夫寝屋川市原水爆
禁止協議会事務局長が
来賓として、寝屋川では6・9行動に取り組んで三二年になることを紹介し、緊急課題とを紹介し、緊急課題として、憲法を事実上失うことにもなりかねない「秘密保護法案」を廃案に追い込むために全力を尽くそうと訴えました。

その後、市教組、市職労、民商、新婦人などから報告、訴えがあ

りました。
また、音と登夢の二人によるミニコンサートの演奏に、音登夢(おととむ)さんによる



各分野が共同して第四一回寝屋川母親大会

生命を生み出す母親は生命を育て生命を守ることをのぞみます

日本の現状と社会のあり方をわかりやすく深く考えさせられました。

質問を通して、2つの廃プラ施設、廃プラ事業が大阪府と寝屋川市が一体となって、住民の声を聞かず、特別



中谷 光夫

異常気象が世界中で大問題になっています。自然のしつ返しか、人類史的に金儲けありきの産業経済政策の見直しが課題として突きつけられています。

一方で、急な冷え込みもあって、紅葉の見頃を迎えてます。今年は楽しむ余裕もありません。仕事に追われ続ける毎日です。

4市組合議会の後は、地域の課題、憲法を壊す安倍内閣の暴走とのたたかい、都市計画審議会、十二月議会の準備と、大変です。

そんな中、全国革新懇交流集会や大学時代の友人との久しぶりの懇親、エコフェスタ・農業まつりへの参加など、気持ちのリフレッシュになっています。

住民の健康を守ることを最優先に 中谷議員が4市組合議会決算に反対討論

【補正予算】について、日本容器包装リサイクル協会からの再商品化合理化拠出金収入が激減している要因と市に分配する使途を、2つの廃プラ処理施設による健康被害を訴える住民の健康調査に充てるなどを検討するよう要望しました。

【十二年度(平成二十四年度)決算】について、①施設の運転管理等業務委託事業入札の総合評価、②同業務委託先が、昨年度途中に大阪東部リサイクル事

業協同組合からスリーエフコーポレーション株式会社に移行したこと、③環境調査委託(・有害大気汚染物測定・T-IVOC検討)などについて質しました。

◆中谷議員は決算認定について、反対討論をおこないました。

◆中谷議員は決算認定について、反対討論をおこないました。

①2つの施設建設、2つの事業が一体のものとして、特定業者の利益ありきでおこなわれてきたこと。

②4市施設の事業による環境や健康への影響

害から健康と環境を守る運動が始まって十年以上が経過してきた状況を述べたうえで、反対する主な理由を三点述べました。

③空気は水や食料のように選ぶことができない。有害化学物質の発生、健康被害は事実であり、住民の命・健康を守ることは自治体の最優先の仕事であり、責任を負うことは自治体の役割を果たしていない。

「寝屋川病」の放置は許されない

